



皆さんこんにちは、谷本公園の指定管理者「緑とコミュニティーグループ」です。
 久々の更新となってしまいましたが、夏の間にあったことや自然情報をご紹介します！

今年も昆虫観察会開催しました。

夏には虫網をもった親子連れの方もチラホラ見られましたが、見つけたかった虫は捕まえることができましたか？8月に公園で行った昆虫観察会では、今年もいろいろな昆虫を見ることができました。たくさんのセミやバッタ、チョウやトンボなどを子供たちと捕まえて、記録を取ったり屋内で観察したり絵を描いたりしてみました。去年から続けて来てくれた子供たちもいて、いろいろな虫を捕まえられたようです。

また、昆虫観察会の前に行ったセミの羽化観察では、アブラゼミのほかにニイニイゼミの羽化が見られました。ニイニイゼミはアブラゼミと比べてみるとビオトープの周辺でしか見られなかったり、羽化する高さが低かったりで見つけにくいので、興味がある方は来年探してみてもいいかもしれません。



ショウリョウバッタ



マユタテアカネ



昆虫観察会
 例年8月上旬ごろ開催しています。



チャバネセセリ



ニイニイゼミの羽化

このガマ何ガマ？

ビオトープと球技場脇の水路にはガマの仲間が生えていますが、これがガマという話と、ヒメガマという話があって、どっちなのかここしばらく疑問に思っていました。

これらは夏の間観察できる雄花穂（上側の細い穂）と雌花穂（下側の太い穂）の間の距離などで見分けられるらしいので、今年こそはこの疑問を解消しよう！と思い、改めて観察してみました。

調べたところ、距離がなくくっついているからガマ…と思いきや、葉の幅を調べたところ、1cm以下と細いのでコガマでした。1.5cmくらいあるとガマのようです。また、距離が開いて間に緑の軸が見えているヒメガマも生えていて、2種類が生育していることがわかりました。

このようによく見てみると違う植物だったりするので、足をとめてじっくり観察してみてもいいかもしれません。



雄花穂

雌花穂

間に軸が見えない
 =ガマorコガマ
 →葉の幅が細い
 =これは「コガマ」



間に軸が見える
 =ヒメガマ

自然情報やその他日常のお知らせは、
 QRコードを読み込んで谷本公園ブログへGO!

